

【目標3：社会教育の充実】

事業名	二十歳の集い記念事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 二十歳を迎えた若者が大人として自立する意識を持つことを目的として式典を開催し祝福する。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 日時 令和5年1月8日(日)午後1時30分 場所 市民交流センターみなとテラス 内容 <ol style="list-style-type: none"> 境港市の歌紹介 シンフォニー少年少女合唱団 主催者式辞 境港市長 伊達憲太郎 来賓紹介 代表謝辞 境港第一中学校卒業生 高美怜司 アトラクション <ul style="list-style-type: none"> ○シンガーソングライター 奥田さやか さん ○ビデオメッセージ 		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度参加者 対象者392人 参加者245人(62.5%) (令和3年度参加者 対象者381人 参加者222人:58.3%) 民法改正に伴い、令和4年より、成人式の名称を「境港市二十歳の集い」に変更。 令和3年度より、実行委員会方式を採用。式典内容(アトラクション)・記念品決定・展示内容の決定、当日の受付、式典の司会を実行委員(6名)が行った。 令和4年7月にオープンした市民交流センターみなとテラスで開催。 新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで式典を開催。(具体的な対策) <ul style="list-style-type: none"> 事前申込制による参加者の事前把握。 座席配置ではソーシャルディスタンスを十分に確保した。 受付時の手指消毒及び検温、マスク着用を徹底した。 		
予算額	678千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 二十歳を迎えた若者が一堂に会し、厳かに式典を挙行できたことで、大人としての自立意識を高めるきっかけとなった。 新たな文化と交流の拠点である市民交流センター みなとテラスでの初開催、境港在住のアーティストによるアトラクション、仲間、恩師との再会などがふるさと境港への思いを育む契機となった。 実行委員の6名が中心となって、企画及び運営に携わり、若者のアイデア、実行力が反映された式典となった。 		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会方式の継続と、それを可能とするための実行委員のなり手となる若者世代の育成や人材発掘が課題。 		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> 若者世代の育成 市民交流センターの活用 		

※学識経験者による指摘・助言

- ・「二十歳の集い」という名称はとても良いアイデアと考える。
- ・実行委員会方式は時代にマッチした方式であると考えます。
- ・次年度以降の感染防止対策に関しては、その時点の感染状況を予測し、過度でない程度の適切な配慮をされたい。
- ・式典の内容は申し分ないと考えます。
- ・実行委員会方式の継続のための人材発掘には努力を要すると思うが様々な団体や企業と連携を図りながら頑張ってもらいたい。